

工学研究科博士後期課程 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

工学研究科では、確かな専門知識と高い倫理観を有し、自然や環境と調和した人間社会の豊かな発展に貢献できる高度専門技術者や研究者等を養成します。

博士後期課程では、高度な専門的知識・能力や研究開発能力に加え、工学の広い分野で活躍できる総合力と資質を有する高度専門技術者や研究者の養成を行います。

以上の人材養成目的を踏まえ、博士後期課程では、学生が知識・能力等に係る以下の目標に到達しているとともにそれらを課題の解決において活用・実践できることを学位授与の方針とします。この方針は、国際技術研究者育成コース（GEP for R&D）にも適用します。

- (a) 物理工学，分子工学，生物応用化学，機械・システム工学，知識情報システム，電子システム，建築都市システム，繊維先端工学，原子力・エネルギー安全工学のいずれかの分野において中核的人材として活躍するために必要となる高度な専門的知識・能力，専門に関連した幅広い基礎知識，ならびに研究推進に必要な技法を有している。
- (b) 広い視野に立って課題を設定し，研究開発活動を独力で推進できる能力を有している。
- (c) 高度専門技術者・研究者として守るべき倫理や負うべき社会的責任を自覚し，幅広い視野をもって社会の発展をリードできる。